

12月の野菜の見通し

平成30年11月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	11,497	少ない	12,516	105	40% ※前年の 単価は品 薄で高騰	85	28	0.2%	千葉・神奈川・徳島産、各地作柄は良好。産地により出荷制限が入ることで相場は下げ止まるも、12月上・中旬にかけて厳しい販売が続く予想。状況が上向くとすれば年末押し迫った頃か。
はくさい	15,800	多い	13,567	81	43% ※前年の 単価は品 薄で高騰	70	9	0.1%	茨城産は作柄良好。端境もなく年末まで潤沢な出回りを見込む。業務・加工向けも歩留まり良好なため、販売は引続き厳しい予想。
キャベツ	14,193	並み	13,462	105	55% ※前年の 単価は品 薄で高騰	96	-	-	千葉・神奈川産は台風による塩害の懸念があったが払拭された。愛知産含めて年内は各地潤沢な出回りが見込まれる。
ほうれん そう	798	少ない	1,370	927	49% ※前年の 単価は品 薄で高騰	582	2	0.3%	11月は各地潤沢な出荷だったが12月の出方は落ち着く見込み。相場も11月よりは上向くだろう。前進傾向なため、産地によっては年末向けの品物が先に出切って数量なくなるところもある予想。
ねぎ	5,352	並み	5,541	357	89% ※前年の 単価は品 薄で高騰	318	287	5.4%	上旬には関東各地、出荷が本格化。中・下旬にかけて増量を見込む。下旬には年末需要で相場は上向く予想。
きゅうり	4,507	並み	4,532	476	86%	417	19	0.4%	11月中に北関東・東北産の抑制作が切り上がり、12月は西南暖地・千葉・埼玉の越冬作の販売となる。全体量は平年並みの見込み。販売は11月に続き鈍い予想だが、12月下旬はやや上向くか。
トマト	5,235	並み	5,260	467	83%	435	22	0.4%	熊本・愛知産は天候不順の影響あったものの平年並みに回復している。高値の反動と増量とで11月に相場下がった後は天候と出荷量次第の販売となる。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の入荷量と価格の見通し」(関東農政局)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)